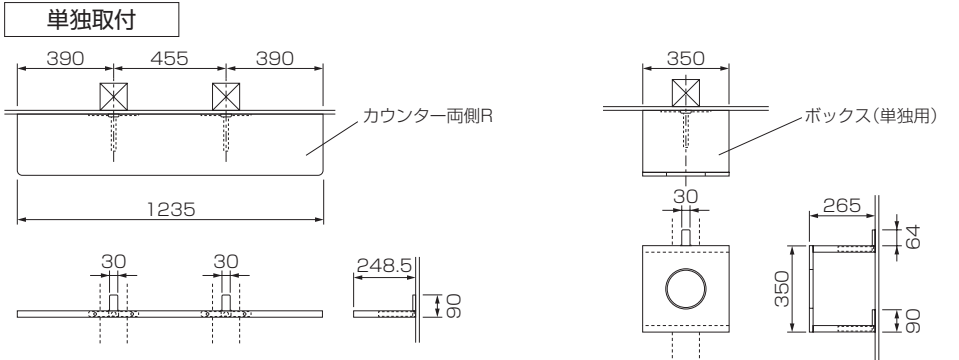
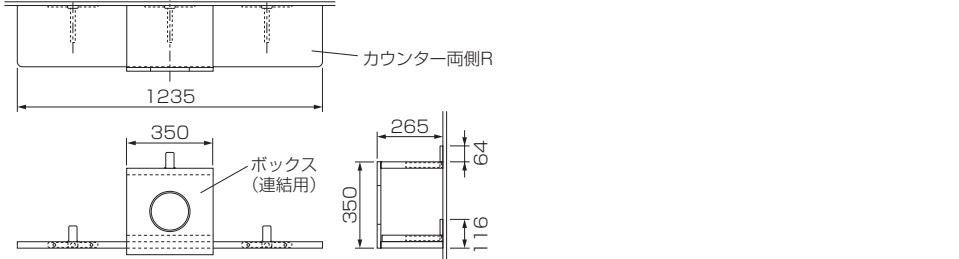


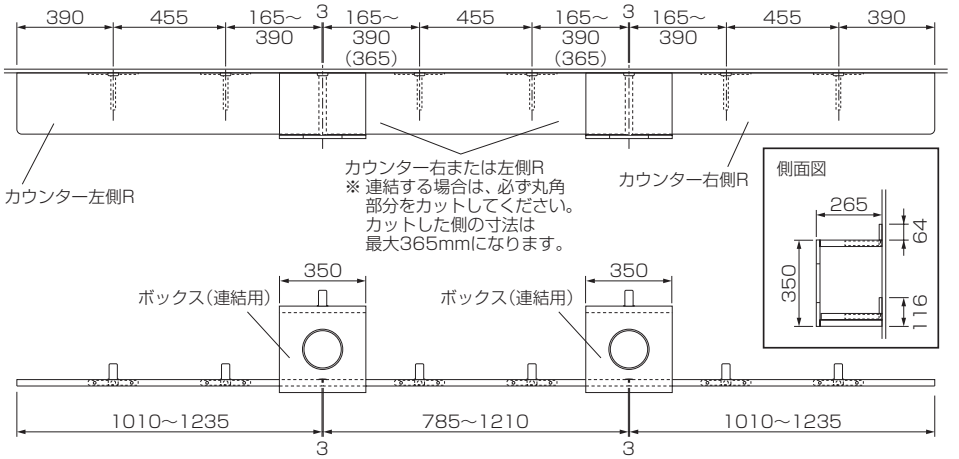
4. 製品納まり図



＜カウンター両側Rにボックスを取付ける場合＞ ※P.6「2. 壁木下地を入れてビス固定する場合」を参照して、壁木下地を入れてください。
「1. 石こうボードの上から柱にビス固定する場合」では取付けできません。

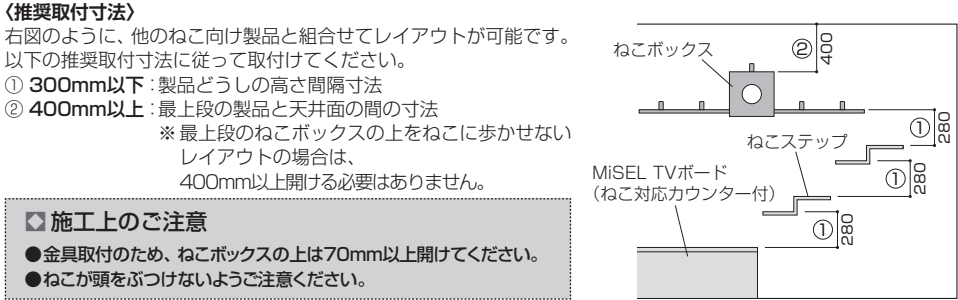


＜連結取付＞ ※P.6「2. 壁木下地を入れてビス固定する場合」を参照して、壁木下地を入れてください。
「1. 石こうボードの上から柱にビス固定する場合」では取付けできません。



250926-JK-187CT-NRB-STHX

4



5. 部材・部品表（施工前に必ず部品を確認してください）

部材の種類と数量、状態を確認してください。

カウンター・ボックス ■には、カラー番号が入ります。

部品の種類	数量				
	ME6301-■	ME6301-■R	ME6301-■L	ME6401-■	ME6402-■
カウンター両側R	1	—	—	—	—
カウンター右側R	—	1	—	—	—
カウンター左側R	—	—	1	—	—
ボックス （単独用）	天底板（共通）	—	—	2	—
	前板	—	—	1	—
ボックス （連結用）	天板	—	—	—	1
	底板	—	—	—	1
	前板	—	—	—	1
小袋	接着剤（ボックス組立用）	—	—	1	1
	ビス隠しシール（各色）	2	2	2	7
継ぎ目隠し部材		—	—	—	1

梱包形態		部品の種類	数量	
			ME6351	ME6352
ブラケット			1	2
大袋	小袋1	ブラケット壁固定ビス トラスタッピンφ5×50	4	8
		石こうボードアンカー	2	4
	小袋2	ボックス固定ビス コーススレッド 3.8×38	6	—
		小袋3	カウンター固定ビス バインド小ネジ M4×8	1
	ブラケットキャップ		1	2
	施工説明書・取扱説明書		1	1

250926-JK-187CT-NRB-STHX

5

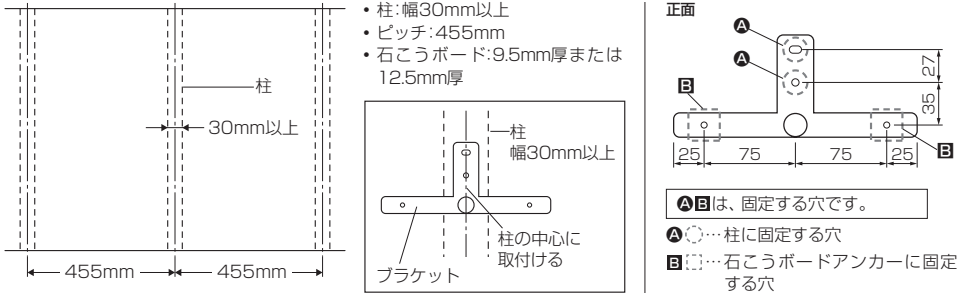
6. 下地の確認

警告

- 壁への固定は、正しい位置に指定本数のビスで確実にしておこなってください。
- 固定の際、必ず間柱や固定用材に固定できるように、下地の配慮をお願いします。
固定・設置方法が確実でないと、製品の落下によるけがの原因になります。

1. 石こうボードの上から柱にビス固定する場合

単独取付けの場合のみ。連結取付けの場合は、「2. 壁木下地を入れてビス固定する場合」を参照して壁木下地を入れてください。

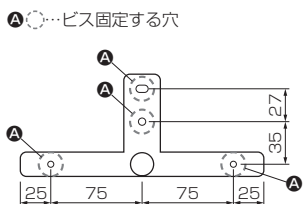


施工上のご注意

- 石こうボードの状態を必ず確認してください。湿気を含んだ状態では、確実に固定できない可能性があります。
- 柱がスタッドの場合は、必ず壁木下地を入れてください。（下記「2. 壁木下地を入れてビス固定する場合」参照）

2. 壁木下地を入れてビス固定する場合

- 合板下地の場合は12mm厚以上
- 針葉樹材などは15mm厚以上の十分な壁木下地を、ねこルート／ねこボックスを取付ける箇所に配置してください。



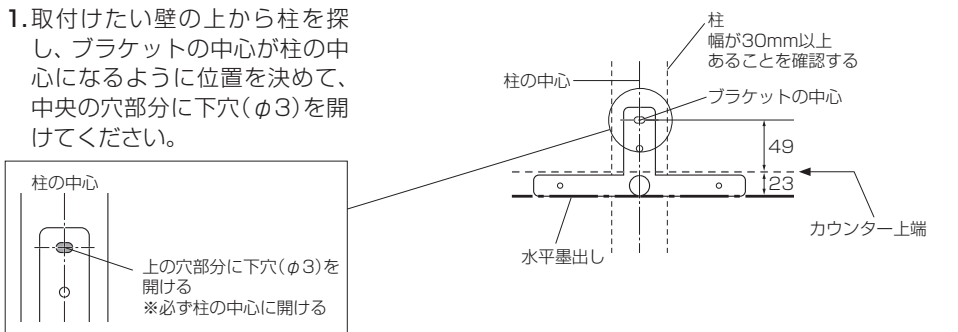
6

7. カウンターの取付け（単独取付）

施工上のご注意

- カウンターを単独で取付ける場合、カウンターは両側Rを使用してください。
- 製品を組立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。
製品または床材にキズがつくおそれがあります。

1. ブラケットの取付け（石こうボード壁の場合）



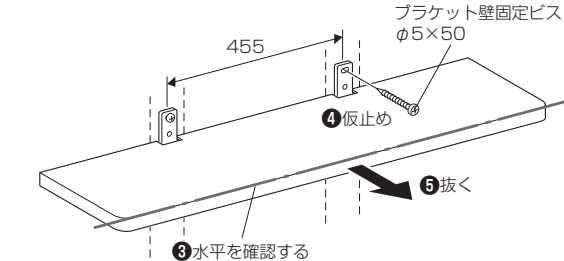
2. ブラケットを中央上部の長穴から、柱にビスで仮止めしてください。

施工上のご注意

- ビスは本締めしないでください。

3. カウンターにもう一つのブラケットを差込んでください。①
4. カウンターを、柱に固定したブラケットに差込んでください。②

5. カウンターの水平を水準器で確認し、差込んだブラケットの長穴から柱にビスで仮止めしてください。③④
6. カウンターを抜いてください。⑤



250926-JK-187CT-NRB-STHX

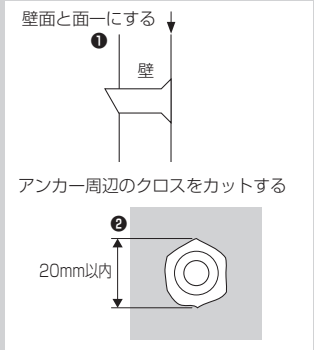
7

7. カウンターの取付け(単独取付)(つづき)

7. ブラケットが水平になっているか水準器で確認し、左右の穴位置に印をつけてください。**⑥**
- ※ 石こうボード2枚張りの場合、下穴(φ7)を開けてください。
8. ブラケットを回転させ、墨出し位置に石こうボードアンカーをねじ込んでください。**⑦**

■施工上のご注意

- 石こうボードアンカーを強くねじ込みすぎないように注意してください。石こうボードが破損するおそれがあります。
- ①石こうボードアンカーは、壁面と面一になるまでねじ込んでください。
- ②クロスがかんで面一にならない場合は、石こうボードアンカー周辺のクロス材をカットし、石こうボードアンカーが壁面よりとび出さないようにしてください。



9. ブラケットの左右を石こうボードアンカーにビスで固定してください。**⑧**

■施工上のご注意

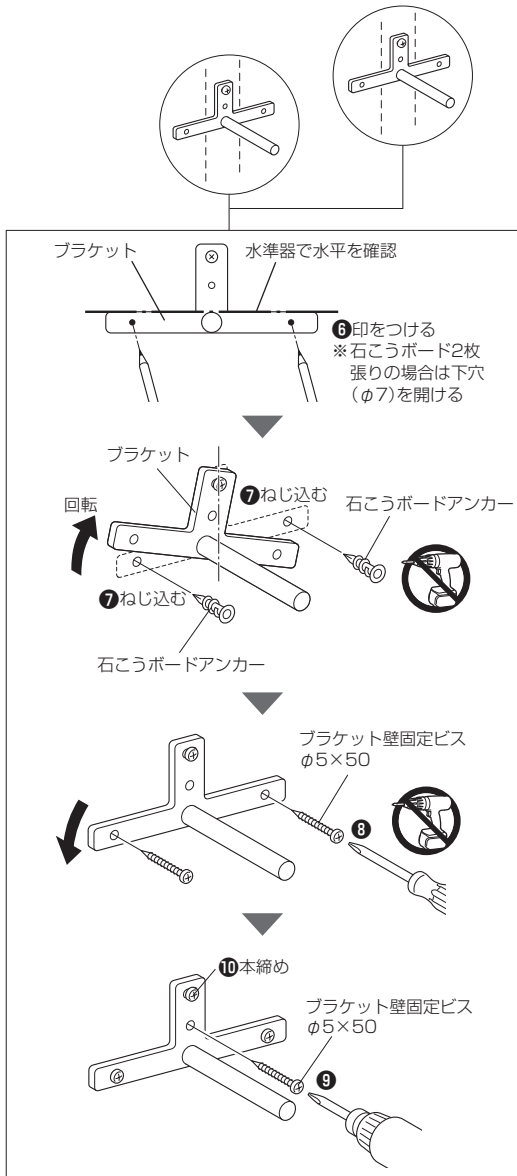
- 石こうボードアンカーに固定するビスは、電動ドライバーを使用しないでください。

10. ブラケット中央の下穴(φ3)を開け、ビスで固定してください。**⑨**
11. 「2」と「5」で仮止めしたビスを本締めしてください。**⑩**

250926-JK-187CT-NRB-STHX

■施工上のご注意

- 墨出しした位置に合板や胴縁などの下地がある場合は、石こうボードアンカーがねじ込めません。その場合は、「9」のビスで直接下地に固定してください。



8

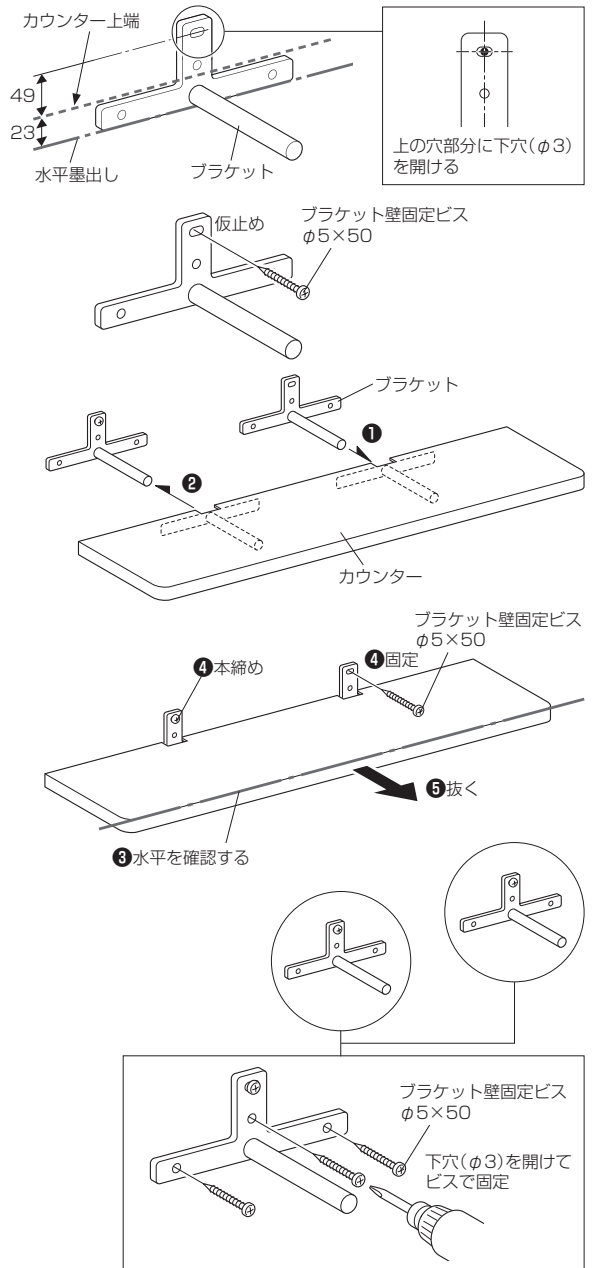
2. ブラケットの取付け (壁木下地を入れてビス固定する場合)

1. ブラケット取付位置の下ラインを墨出ししてください。
2. ブラケットを墨出し位置に合わせて中心位置を決め、中央上部の長穴部分に下穴(φ3)を開けてください。
3. ブラケットを中央上部の長穴から、ビスで仮止めしてください。

■施工上のご注意

- ビスは本締めしないでください。

4. カウンターにもう一つのブラケットを差込んでください。**①**
5. カウンターを、壁に固定したブラケットに差込んでください。**②**
6. カウンターの水平を水準器で確認し、差込んだブラケットの長穴から柱にビスで固定してください。**③**
7. 「3」で仮止めしたビスを本締めしてください。**④**
8. カウンターを抜いてください。**⑤**
9. 左右の穴に下穴(φ3)を開け、ビスで固定してください。
10. ブラケット中央の下穴(φ3)を開け、ビスで固定してください。

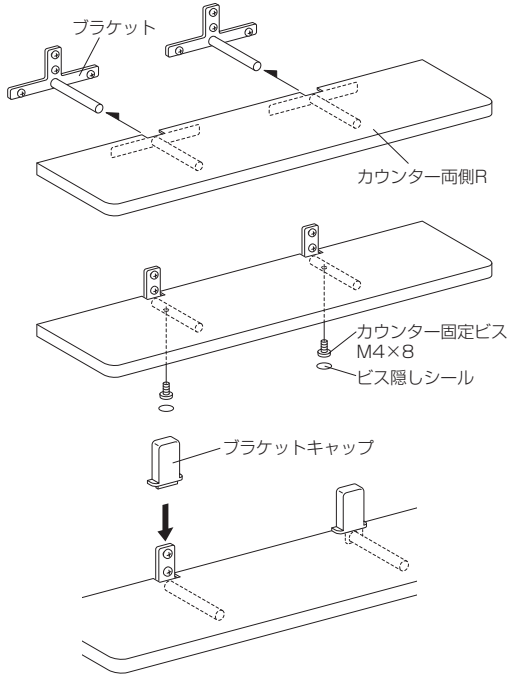


250926-JK-187CT-NRB-STHX

9

3. カウンターの取付け

1. カウンターをブラケットに差込んでください。



2. カウンターの裏面からビスで固定してください。

3. ブラケットキャップを被せてください。

4. カウンター両側Rにボックスを取付ける場合

1. カウンター単独取付の場合と同様にカウンターを取付けてください。(→P.9~10参照)

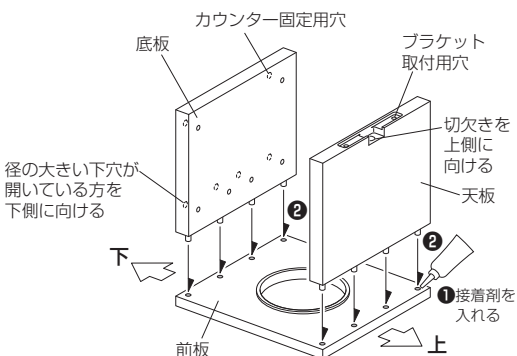
■施工上のご注意

- P.6「2 壁木下地を入れてビス固定する場合」を参照して、壁木下地を入れてください。
- 「1. 石こうボードの上から柱にビス固定する場合」では取付けできません。

2. ボックス連結用の前板に接着剤を入れて**①**、天板と底板のダボを前板に差込んで取付けてください。**②**

■施工上のご注意

- 天板にはブラケット取付用穴があり、底板裏面にはカウンター固定用穴があるので、間違えないように注意してください。

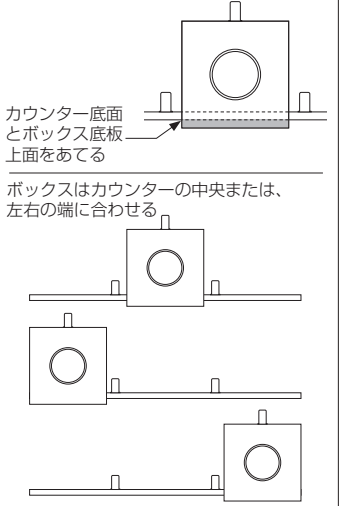


250926-JK-187CT-NRB-STHX

10

3. ボックスの前板を上に向け、あて木をあてて、ゴムハンマーなどでたたき入れてください。**③**
4. ブラケットをボックスに差込み**④**、ボックスをカウンターにあてて、位置決めしてください。**⑤**

ボックスの位置決め



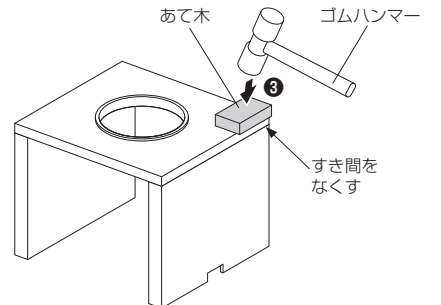
5. ブラケットを長穴からビスで取付けてください。(→P.9「1」~「7」参照)

■施工上のご注意

- 下地によって、ブラケットを取付けるビスを仮止めする場合と固定する場合がありますので注意してください。

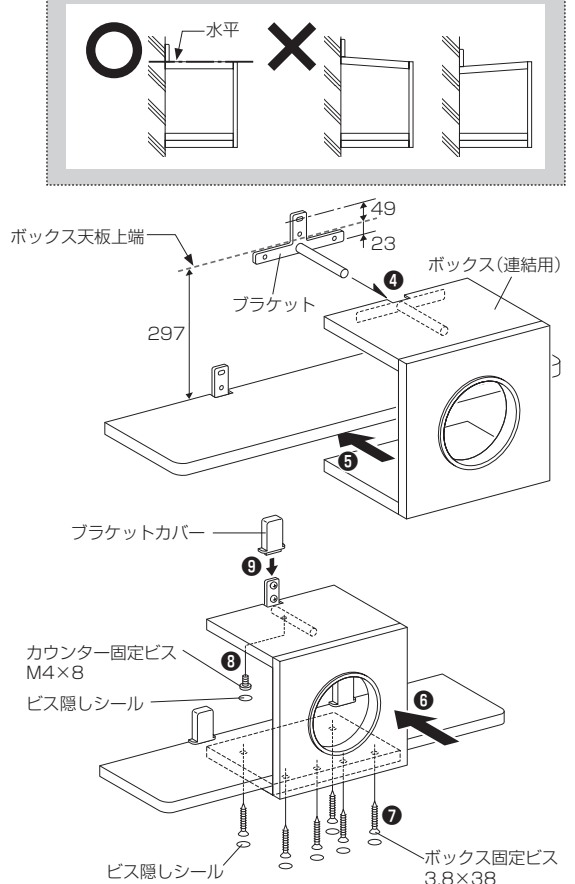
6. ボックスを抜いて、ブラケットを固定してください。(→P.9「9」~「10」参照)
7. ブラケットに連結用ボックスを差込み**⑥**、下からビスで固定してください。**⑦**
8. ボックスの上からビスで固定してください。**⑧**
9. ブラケットカバーを被せてください。**⑨**

250926-JK-187CT-NRB-STHX



■施工上のご注意

- ボックス底板上面と、カウンター下面の間にすき間ができないように取付けてください。
- ボックスの天板が水平になるように取付けてください。



11

8. ボックスの取付け(単独取付)

- ボックス単独用の前板に接着剤を入れて①、天板と底板のダボを前板に差込んで取付けてください。②
- ボックスの前板を上に向け、あて木をあてて、ゴムハンマーなどでたたき入れてください。③
- 上用ブラケットを、取付ける壁の下地に合わせて取付けてください。
 - 石こうボード壁の場合… P.7「1」～「2」参照
 - 壁木下地を入れてビス固定する場合… P.9「1」～「3」参照

■施工上のご注意

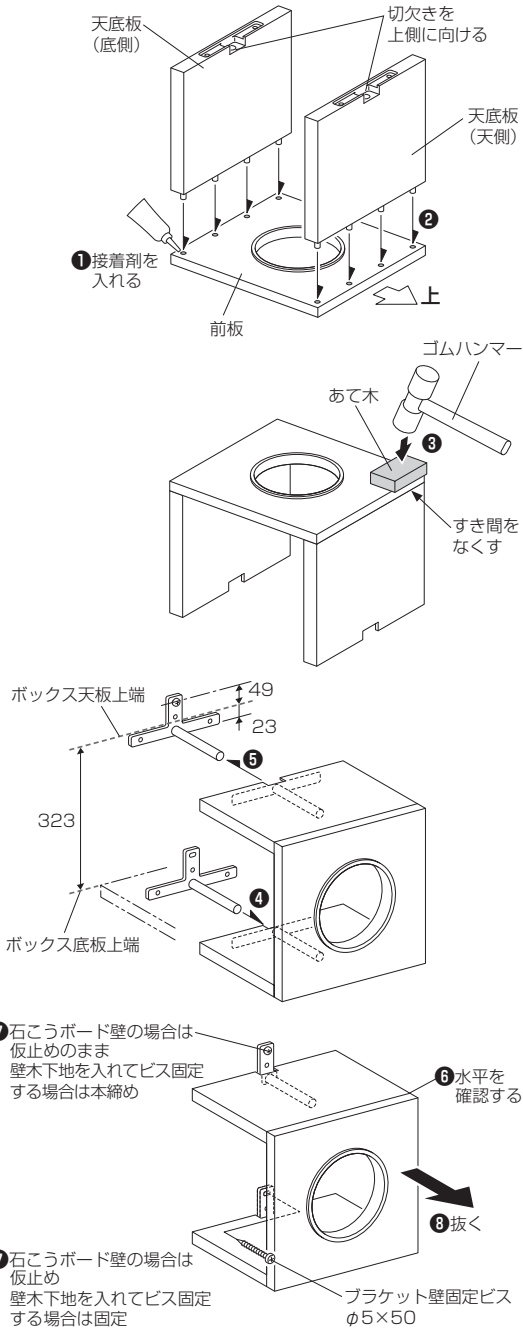
下地によって、ブラケットを取付けるビスを仮止めする場合と固定する場合がありますので注意してください。

- ボックスに下用ブラケットを差込んでください。④
- ボックスを、壁に取付けたブラケットに差込んでください。⑤
- ボックスの水平を水準器で確認し⑥、差込んだブラケットの長穴から柱にビスで取付けてください。⑦

■施工上のご注意

下地によって、ブラケットを取付けるビスを仮止めする場合と固定する場合がありますので注意してください。

- ボックスを抜いてください。⑧
- ブラケットを上下とも固定してください。
 - 石こうボード壁の場合… P.8「7」～「11」参照
 - 壁木下地を入れてビス固定する場合… P.9「9」～「10」参照

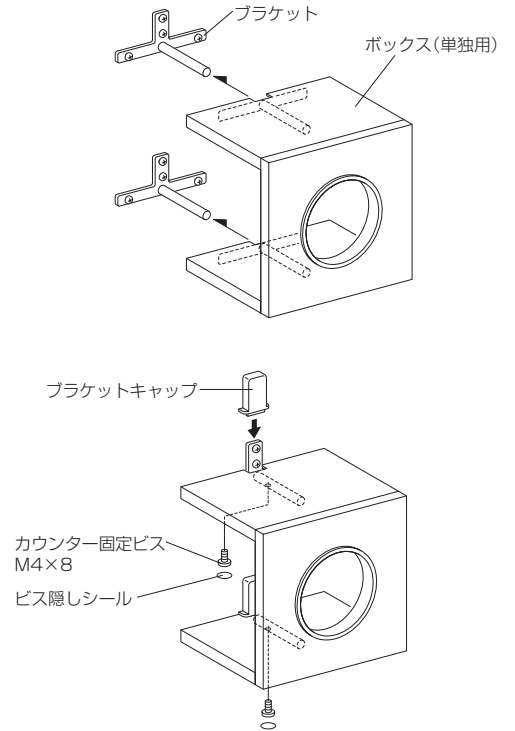


250926-JK-187CT-NRB-STHX

12

- ボックスをブラケットに差込んでください。

- ブラケットとボックスをビスで固定してください。
- ブラケットキャップを被せてください。



250926-JK-187CT-NRB-STHX

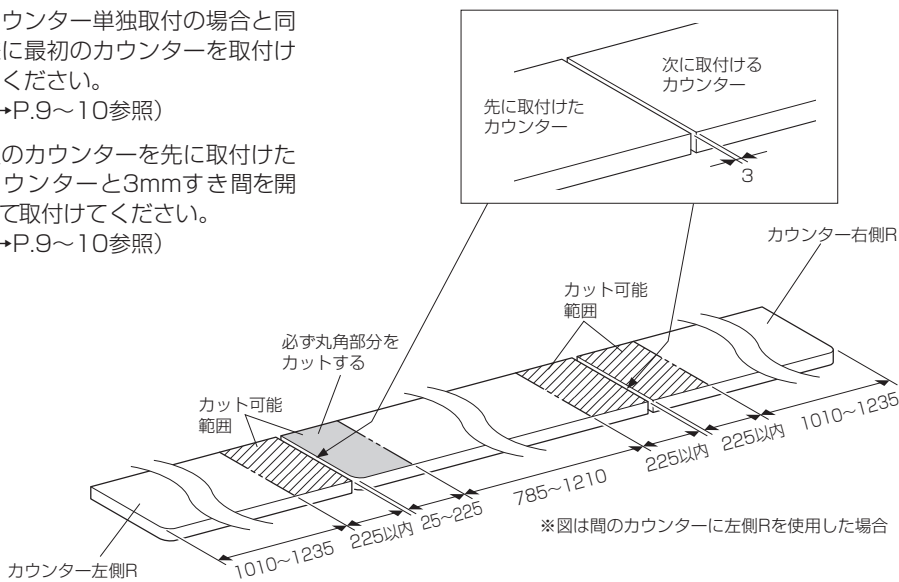
13

9. カウンターの取付け(連結取付)

- カウンターの連結側をカットしてください。(255mm以内)
※ 3枚以上のカウンターを連結する場合、間のカウンターは片側Rのものを使用し、必ず丸角部分をカットしてください。
- カウンター単独取付の場合と同様に最初のカウンターを取付けてください。(→P.9～10参照)
- 次のカウンターを先に取付けたカウンターと3mmすき間を開けて取付けてください。(→P.9～10参照)

■施工上のご注意

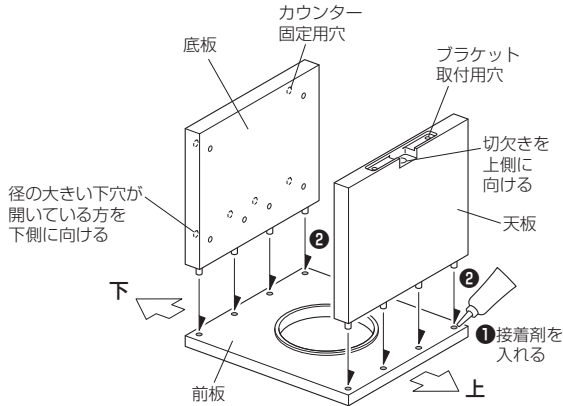
- P.6「2.壁木下地を入れてビス固定する場合」を参照して、壁木下地を入れてください。「1. 石こうボードの上から柱にビス固定する場合」では取付けできません。
- カウンターを連結して取付ける場合、カウンターの種類は右側R、または左側Rになります。



- ボックス連結用の前板に接着剤を入れて①、天板と底板のダボを前板に差込んで取付けてください。②

■施工上のご注意

天板にはブラケット取付用穴があり、底板裏面にはカウンター固定用穴があるので、間違えないように注意してください。



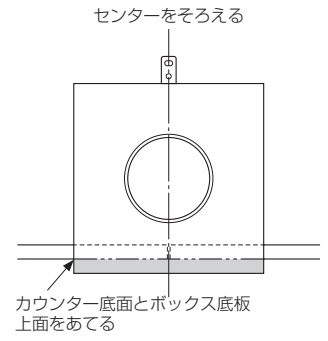
250926-JK-187CT-NRB-STHX

14

- ボックスの前板を上に向け、あて木をあてて、ゴムハンマーなどでたたき入れてください。③

- ブラケットをボックスに差込み④、ボックスをカウンターにあてて、位置決めしてください。⑤

ボックスの位置決め

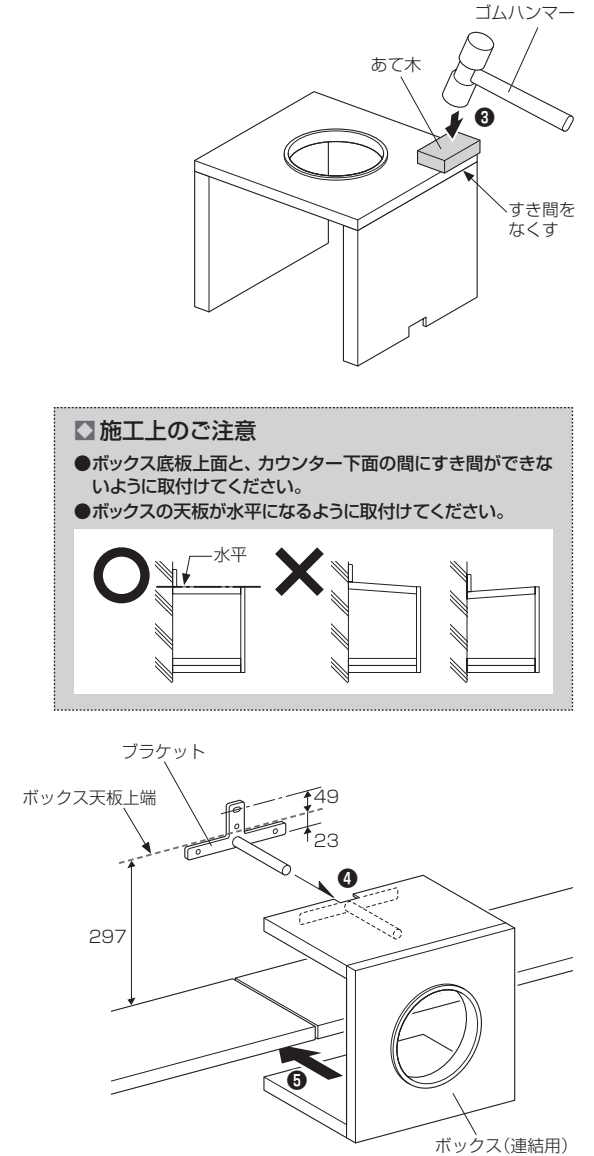


- ブラケットを長穴からビスで取付けてください。(→P.9「1」～「7」参照)

■施工上のご注意

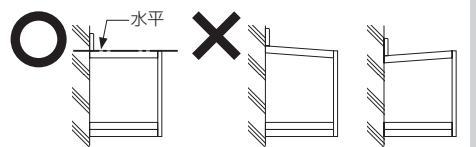
下地によって、ブラケットを取付けるビスを仮止めする場合と固定する場合がありますので注意してください。

- ボックスを抜いて、ブラケットを固定してください。(→P.9「9」～「10」参照)



■施工上のご注意

- ボックス底板上面と、カウンター下面の間にすき間ができないように取付けてください。
- ボックスの天板が水平になるように取付けてください。

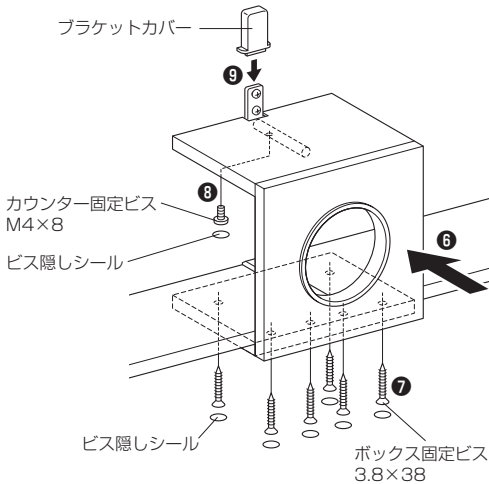


250926-JK-187CT-NRB-STHX

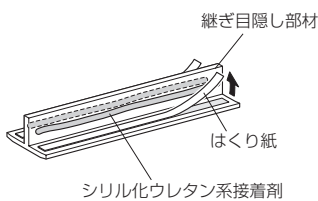
15

9. カウンターの取付け(連結取付)(つづき)

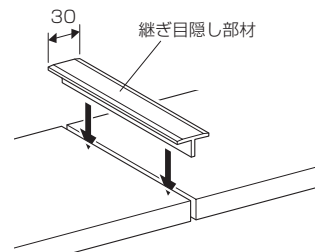
9. ブラケットに連結用ボックスを差込み⑨、下からビスで固定してください。⑦
10. ボックスの上からビスで固定してください。⑧
11. ブラケットカバーを被せてください。⑨



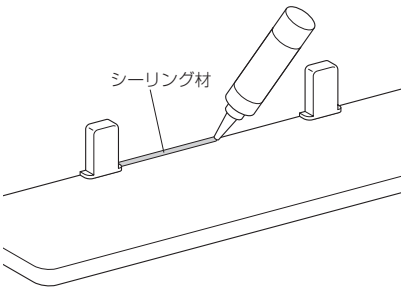
12. 継ぎ目隠し部材の両面テープのはくり紙をはがしてください。
13. 継ぎ目隠し部材にシリル化ウレタン系接着剤(コニシ・ウルトラ多用途SU推奨)を塗布してください。



14. 継ぎ目隠し部材を、カウンターの間に取付けてください。



15. カウンターと壁にすき間がある場合は、シーリング材(現場手配)ですき間を埋めてください。シーリング材の塗布後は、硬化するまで養生してください。



250926-JK-187CT-NRB-STHX

16

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この説明書に書かれた注意事項は、お客様や他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です
	必ず実行していただく内容です
	留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等

警告

- お客様自身で、製品の解体や移設・レイアウト変更をしないでください。組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

注意

- この製品の上に足を掛けたり、乗ったりしないでください。特に、小さなお子様が上らないようご注意ください。破損や落下によるけがの原因になります。
- この製品は収納棚ではありません。上に物をのせないでください。ねこが触れたり、着地の衝撃で物が落下し破損したり、ねこがけがをするおそれがあります。
- この製品の分解や改造はしないでください。製品強度が失われ、けがや破損の原因になります。

- 各部のビスがゆるんだままで使用しないでください。

製品の変形・破損や落下により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

- 部材の欠落や変形など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。

- 製品に貼ってあるラベルは、はがさないでください。

誤った使いかたや事故を防止するためのものです。

- 本製品は、1ユニットにつき体重5kgのねこ2頭を想定して、安全性を確認しています。[耐荷重(静荷重)15kg] ※荷重を超えると、製品が脱落するおそれがあります。
- 子ねこ(1歳未満を目安)や高齢のねこ、障がいのあるねこを飼われている場合は、転落を防止するため、それぞれの身体能力を考慮して、製品をレイアウト・施工してください。特に子ねこを飼われている場合、製品を高い場所に施工することはお勧めしません。

250926-JK-187CT-NRB-STHX

17

2. 使用上のお願い

- ストープなどの熱源を、製品に近づけないでください。製品が反ったり、表面がゆがんだりするおそれがあります。
- 製品にプラスチックやビニールなどの樹脂製品やゴム製品を長期間接触した状態にしないでください。塗装との化学反応により、接触面が軟化したり、ベトツキ現象や色の移行を起こす原因になります。

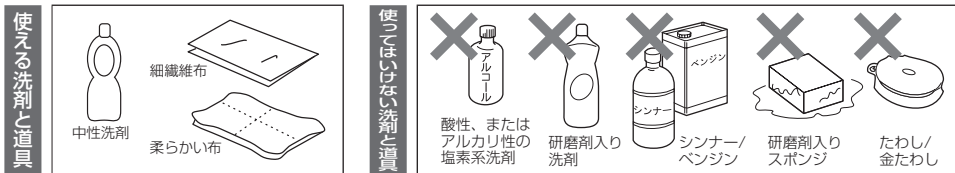
- 製品にセロハンテープやシールなど、粘着性のあるものを貼り付けないでください。表面材がはがれる原因になります。
- 製品にねこの尿や水をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などを放置しないでください。表面材の変色・はがれ・ひび割れ・そり・腐食の原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。

3. お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、水分が残らないように乾拭きしてください。

■ 汚れを落とすときのご注意

酸、アルカリ性洗剤、アルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。表面のツヤが無くなったり変色するおそれがあります。



定期的な点検項目

※ 製品の長期間の使用にともない、部品などが劣化(経年劣化)を生じ安全上支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化進行にともなう具体的な事象
カウンター・ボックス	カウンター・ボックスの傾き、垂れ下がりはあるか。	有・無	カウンター・ボックスの抜け・落下。

注意

- 点検後、上記のような異常が発見された場合は直ちに使用を中止し、施工された工事店様へ連絡し、メンテナンスを受けてください。そのまま使用していると、部材の脱落などにより、けがをするおそれがあります。

250926-JK-187CT-NRB-STHX

18

DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品

ねこルフト／ねこボックス

■保証事項
通常の環境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、弊社の責任に起因する製品不具合(保証期間一覧表参照)を無料で修理します。
なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。
※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。
(原則、新品交換は含みません)

■保証期間
弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。(保証期間一覧表参照)
保証期間経過後の修理については有料となります。

保証期間一覧表

	保証事項		保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期 ^{※2}	
外観上の著しい変形・変質が生じないこと	基材、表面	変形、変質(反り、ハガレ、クラック)	完了後	2年

※1:「著しい」の定義
正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。
※2:保証期間起算時期について
保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■免責事項

- ・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。
 - 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
 - 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
 - 3) 自然現象・周辺環境など(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
 - 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
 - 5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
 - 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
 - 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
 - 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
 - 9) 経時変化による通常の一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
 - 10) 用途外に使用された場合の故障および損害(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など)
 - 11) 爪とぎ・かじりなどによるキズや破損、糞尿による汚損・劣化など小動物に起因する不具合や、キクイムシなどの害虫に起因する不具合
 - 12) 本製品からの落下や、すき間にはさまれるなどによる、ねこのけが
 - 13) ねこにより、本製品に生じた、破損、汚損、滅失などの損害や、ねこが他の物品に加えた行為による落下、破損などで発生した一切の損害
 - 14) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
 - 15) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
 - 16) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
 - 17) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
 - 18) その他当該不具合の発生が弊社の責にやらない場合
- ※1: 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから
<https://www.daiken.jp/qr/user/>



お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター
☎0120-787-505
(フリーダイヤル)
●受付時間…平日9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みをいただいております)
<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで写真も送ることができます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
※購入には登録が必要です。
<https://www.daiken.jp/qr/service/>
DAIKENホームページ▶お客様サポート▶▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における個人情報の取扱い DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに準拠してあります。)なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためのフリーダイヤルサービスは、採用していません。またご相談内容を正確に記録し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>